

長岡商工会議所 第13次行動計画 令和5年度(2023)～令和7年度(2025)

※行動計画は、今後3か年における長岡地域の活性化と会員企業の活力強化に向けた商工会議所の基本方針として、会員と事務局が一体となって展開する中期計画です。

■現 状 ～大きな変革期にある～

- ・長引く感染禍 ・エネルギー、原材料高 ・円安 ・世界経済の混乱
- ・コロナ融資の返済スタート ・人口減少、少子高齢化 ・後継者不足
- ・事業所数の減少 ・デジタル化やSDGsへの対応 ・人材確保の困難
- ・賃金アップへの対応 ・企業収益の圧迫や消費マインドの悪化

時代の大きな変化を見据えた上で、下記の取り組みを強化

- ・様々な「経営課題解決への支援」
- ・時代に対応した「自己変革への挑戦」
- ・魅力ある「地域づくり」

長岡地域経済の活性化と
会員企業の持続可能な成長を目指す。

【行動理念】

長岡商工会議所は、企業の成長と地域経済の活力強化を目指し、現場主義を徹底し、「行動する商工会議所」として、地域と共に歩みます。

【重点項目と目標】

1. 事業継続と成長に向けた伴走型経営支援の拡充

- ・事業承継や創業支援、資金繰り対応等、課題解決に向けた伴走型経営支援に取り組む。
- ・再開発移転後のワンストップ型支援モデルの確立と産学官連携による企業力の強化を図る。
- ・税制や規制緩和、法改正等への円滑な対応支援を行う。

3年後の到達目標（累計）

- (1) 伴走型経営支援件数
 - ・事業承継支援 150 件、創業支援 100 件、融資斡旋 50 件、補助金申請支援 100 件
- (2) 税制や法改正等への対応や経営課題の解決に向けた普及促進
 - ・セミナー参加者 1,500 名 ・啓発向けパンフレットの作成・配布 15 部
- (3) 再開発ビルに入居予定の各種支援機関と協議し、支援モデルを確立
 - ・行政並びに関係機関との情報共有
 - ・ワンストップ型サービスの提供に向けた協調、横展開

2. 会員企業の自己変革への支援と推進

- ・DX、デジタル化の活用による生産性の向上や販売促進を推進する。
- ・SDGsや環境活動への対応等、社会経済環境の変化に向けた取り組みを支援する。
- ・女性活躍の推進や高度外国人材の雇用、働き方改革に係る取り組みを検討する。

3年後の到達目標（累計）

- (1) デジタル技術活用による支援事業の展開と生産性向上・省力化に役立つ先進事例の紹介
 - ・デジタル技術を活用した販路拡大の個別支援 30 社
 - ・セミナーや視察等による事例紹介 15 回
- (2) SDGs、カーボンニュートラル等に対する会員企業の取り組み事例を紹介
 - ・セミナーやホームページによる事例紹介 10 回
- (3) 働き方改革や人材確保につながる情報提供
 - ・PR冊子、チラシ、SNSによる提供 15 回

3. 地域活性化に向けたまちづくりの推進

- ・11 部会と連携し、地域企業の経営課題解決のため、関係行政機関に意見・要望する。
- ・まちづくりや中心市街地の活性化に向けた政策・提言を検討する。
- ・地域資源や観光等の魅力向上を目指し、定住者・交流人口の増加による活性化を推進する。

3年後の到達目標（累計）

- (1) 政策提言活動
 - ・企業の経営課題解決に向けた意見・要望活動 3 回
 - ・まちづくりや中心市街地活性化に向けた情報交換及び提言 3 回
- (2) 観光振興や食、名産品等のシティプロモーションにつながる取り組みを強化
 - ・行政、関係団体等と連携したイベント等の事業を実施
 - ・販売促進イベントや展示会への出展 15 回
- (3) 地域の活性化に向けた進出企業や県外出身者との情報交換会 3 回

4. 組織力の強化

- ・会員相互の交流促進と総合経済団体としての発言力の向上を図るため、会員増強に取り組む。
- ・有事の場合を想定し、商工会議所活動を継続できるように財源確保を行う。
- ・令和7年に創立120周年を迎えることから、会員に向けた記念事業を検討する。

3年後の到達目標（累計）

- (1) 提言力強化を図るための会員組織率の向上
 - ・会員募集を年間100件入会・退会50件以内→R7年度末2,750会員で組織率30.0%
 - ・人脈形成に向けた会員間の交流機会の提供 3年間で30回
- (2) 積極的な事業活動のための財政基盤の強化
 - ・単年度収入…会費8,100万円、共済手数料5,500万円、貸室収入3,000万円
 - ・財政調整基金残高 4億円（単年度会費収入相当額の5年間分）
- (3) 創立120周年事業の企画・検討（創立記念日：令和7年3月7日、本移転：同年7月予定）